

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
2024年 7月11日	
山口県知事 殿	
提出者	
住 所 柳井市余田3626番地の2	
氏 名 医療法人松栄会坂本病院	
理事長 坂本達哉	
電話番号 0820-23-6800	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	医療法人松栄会坂本病院
事業場の所在地	柳井市余田3626番地の2
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	病院
事業の規模	療養病棟100床
従業員数	90人
特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	・医療廃棄物 注射器、注射針、人工透析血液回路等→ 収集運搬業者に委託→ 中間処理(焼却・溶融)→ 最終処分(埋め立て処分)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

病院長—特別管理産業廃棄物管理者



事務部(マニフェスト作成)



院内廃棄物担当者—収集運搬業者—中間処理業者—最終処分会社

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	医療廃棄物	
	排 出 量	5 4 . 0 6 t	t
	（これまでに実施した取組） 製品取扱い・廃棄物分別等の周知徹底。		
計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	医療廃棄物	
	排 出 量	5 4 . 0 6 t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も同様に実施。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 医療廃棄物を専用ドラム缶に収納し密閉後運搬業者へ委託
計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後も同様に実施

(第 3 面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	医療廃棄物	
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	医療廃棄物	
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	医療廃棄物	
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	医療廃棄物	
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	医療廃棄物	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 実施例なし		
計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	医療廃棄物	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	医療廃棄物	
	全処理委託量	54.06 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	54.06 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 優良認定業者に委託し、書面による契約を実施している 感染性廃棄物の中で特にディスプレイ製品が多いことから、無駄遣いをしないよう心がけ、かつ院内活動に支障が出ないよう効率よく製品を使用するよう心がけた。		

計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	医療廃棄物	
	全 処 理 委 託 量	5 4 . 0 6 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	5 4 . 0 6 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 電子マニフェストを使用し、医療従事者や委託業者とも連携をとり 一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の適切な分別を行って いく。		

電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	5 4 . 0 6 t
	(今後実施する予定の取組) 令和 2 年度より電子マニフェストの使用している。。	

事務処理欄	
-------	--

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) 欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という。)第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。))を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 欄は記入しないこと。

多量排出事業者の特別管理産業廃棄物処理計画書 (補足) (令和 6年度計画)

多量排出事業者 名 称	医療法人松栄会坂本病院	所在地 (市町名)	柳井市	事業の種類	病院
-------------	-------------	-----------	-----	-------	----

(単位：トン)																					
区分	種 類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
特別管理産業廃棄物	廃油																				
	廃酸																				
	廃アルカリ																				
	感染性産業廃棄物	54	54	0	0	0	0	0	0	0	0	54	54	54	54	0	0	0	0	0	0
	P C B																				
	P C B汚染物																				
	P C B処理物																				
	廃石綿等																				
	有害産業廃棄物																				
	計 (B)	54	54	0	0	0	0	0	0	0	0	54	54	54	54	0	0	0	0	0	0